

診療関連技術	2年・前期	2単位	准教授 高橋智美, 他
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33110582

1. 授業のねらい・概要

医学的問題を有する対象に施される診療（診察・検査・治療）の目的・方法等を学び、看護者が補助として関わる役割とその意味を理解する。また、診療に伴う対象の心身の苦痛を最小に抑え、正確で安全な技術の修得を図る。

2. 学修の到達目標

1. 検査・処置・治療を安全に実施するために必要な基本的知識が理解できる。
2. 検査・処置・治療を安全に実施する上で必要な基本的技術を習得できる。

3. 授業の進め方

授業計画に基づき、それぞれの項目に対して講義及び演習を行なう。また技術評価試験を行い、講義および演習で学んだ知識・技術を確認する。

4. 授業計画（講義・演習・実技）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	診療関連技術とは 看護と観察について	講義	予習：シラバスを精読し、使用テキストの確認をする。 復習：テキスト動画ページの視聴方法の再確認をする。	高橋智美
2	安全管理の技術、医療事故防止 医療安全に関する用語、医療事故の種類、背景、実際、予防方法について	講義	予習：最近発生した医療事故についてレポートにまとめる。 復習：テキスト「基礎看護技術Ⅰ」P106～P125 及び配布プリントを精読する。	高橋
3	症状・生体機能管理技術 生体モニタリングの目的、種類、看護への活用について	講義	予習：モニタリング機器についてレポートにまとめる。 復習：テキスト「基礎看護技術Ⅱ」P422～P434 及び配布プリントを精読する。	高橋
4	感染予防 感染の定義、洗浄・消毒・滅菌、無菌操作、スタンダードプリコーション、針刺し防止、院内感染防止について	講義	予習：「基礎看護技術Ⅰ」P64～P103を精読、サブテキスト「看護技術プラクティス」P64-110を精読する。 復習：テキスト P409E, p410F～I の動画を視聴する。	千木良悦子
5	ガウンテクニック、滅菌手袋の装着の実際	演習	予習：ガウンテクニック、滅菌手袋の装着、について事前学習シートにまとめる。 復習：演習振り返りシートをまとめる。	千木良, 他
6	無菌操作、滅菌物の取り扱いに実際	演習	予習：無菌操作、滅菌物の取り扱いについて事前学習シートにまとめる。 復習：演習振り返りシートをまとめる。	千木良, 他
7	創傷管理技術 皮膚の構造・付属器、創傷の分類と治癒課程、褥瘡、医療関連機器圧迫創傷、スキンケアについて	講義	予習：皮膚の構造・付属器及びその変化についてレポートにまとめる。 復習：テキスト「基礎看護技術Ⅱ」P272～P276、サブテキスト「看護技術プラクティス第4版」P455～P494 及び配布プリントを精読する。	高橋
8	創傷処置 包帯法テープの止め方・はがし方、フィルムシート貼り方・はがし方、包帯法、三角巾による上肢固定	演習	予習：テキスト P484-27 の動画を視聴する。 復習：演習振り返りシートをまとめる。	高橋, 他
9	排泄行動自立の意義、排泄援助の基本	講義	予習：テキスト「基礎看護技術Ⅱ」P65～P71	高橋

	姿勢, 排尿機能, 畜尿障害・排出障害, 排便機能, 機能性便秘について		及び P79~P87 を精読する。 復習: テキスト「基礎看護技術Ⅱ」P79~P83, サブテキスト「看護技術プラクティス」P189~P192 及び配布プリントを精読する。	
10	排泄の援助技術 1 排泄器官の解剖学的位置関係, 導尿の種類, 目的, 適応, 方法, 留意点, 合併症について	講義	予習: テキスト「基礎看護技術Ⅱ」P79~P87 を精読する。 復習: テキスト P477-8 の動画を視聴する。	高橋
11	一時的(間欠的)導尿の実際	演習	予習: 事前学習シートをまとめる。 復習: 演習振り返りシートをまとめる。	高橋, 他
12	排泄の援助技術 2 排泄器官の解剖学的位置関係, 浣腸の種類, グリセリン浣腸の適応, 方法, 留意点, 摘便	講義	予習: テキスト「基礎看護技術Ⅱ」P87~P94 を精読する。 復習: テキスト P478-9 の動画を視聴する。	高橋
13	グリセリン浣腸の実際	演習	予習: 事前学習シートをまとめる。 復習: 演習振り返りシートをまとめる。	高橋, 他
14	診察・検査・処置における技術 受診時の看護, 診察介助の留意点, 生理学検査, 検体検査, 5. 検査時の看護	講義	予習: テキスト「基礎看護技術Ⅱ」407~P422 を精読する。 復習: テキスト P488-36 の動画を視聴する。 採血チェックリストを精読する。	高橋
15	注射器の取り扱い, 採血	演習	予習: 事前学習シートをまとめる。 復習: 演習振り返りシートをまとめる。	高橋, 他
16	真空採血管を用いた採血	演習	予習: 事前学習シートをまとめる。 復習: 演習振り返りシートをまとめる。	高橋, 他
17	薬物療法援助の基礎知識 1 薬物動態, 薬剤の使用法経路別効果, 薬力学的相互作用, 薬剤の管理, 薬物療法(内服薬)時の援助, 薬物療法(外用薬, その他)時の援助について	講義	予習: テキスト「基礎看護技術Ⅱ」P310~P325 を精読する。 復習: 配布プリントを精読する。テキスト P485-28 の動画を視聴する。	高橋
18	薬物療法援助の技術 注射器の取り扱い, プライミングの実際	演習	予習: テキスト「基礎看護技術Ⅱ」P329~P334, サブテキスト「看護技術プラクティス」P368~P375 を精読する。 復習: 演習振り返りシートをまとめる。	高橋, 他
19	薬物療法援助の基礎知識 2 皮内, 皮下, 筋肉内注射に目的・適応・禁忌・留意点, 皮下, 筋肉内注射の安全な穿刺部位 注射時に共通する看護について	講義	予習: テキスト「基礎看護技術Ⅱ」335~P345 を精読する。 復習: 配布プリントを精読する。テキスト P486-30, 32 の動画を視聴する。	高橋
20	筋肉内注射, 皮下注射の実際	演習	予習: 事前学習シートをまとめる。 復習: 筋肉内注射, 皮下注射チェックリストを確認し, 演習振り返りシートをまとめる。	高橋, 他
21	薬物療法援助の基礎知識 3 静脈内注射の目的, 適応, 種類, 穿刺部位に応じた注意点 輸液滴下量の計算, 5. 輸液に使用する機器, 輸液実施中の看護について	講義	予習: テキスト「基礎看護技術Ⅱ」346~P369 を精読する。 復習: 配布プリントを精読する。テキスト P487-33, 34 の動画を視聴する。	高橋
22	静脈注射, 点滴静脈内の実際 シリンジポンプの取り扱い	演習	予習: 事前学習シートをまとめる。 復習: 演習振り返りシートをまとめる。	高橋, 他
23	点滴静脈注射の実際 輸液ポンプの取り扱い	演習	予習: 事前学習シートをまとめる。 復習: 演習振り返りシートをまとめる。	高橋, 他
24	呼吸・循環を整える技術基礎知識 酸素療法の概要, 酸素の供給システム, 酸素ポンプの残量確認, 酸素療法時の看護, 呼吸を楽にする援助について	講義	予習: テキスト「基礎看護技術Ⅱ」P234~P255 を精読する。 復習: 配布プリントを精読する。テキスト	高橋

	て		P483-22, 24 の動画を視聴する。	
25	酸素吸入（酸素ボンベの取り扱い含む）、ネブライザー、吸引器の扱い ネブライザー、吸引実験	演習	予習：事前学習シートをまとめる。 復習：演習振り返りシートをまとめる。	高橋，他
26	技術評価試験オリエンテーション	実技	予習：本科目で履修した実技について確認しイメージトレーニングをする。 復習：提示された課題についてチェックリストに沿って手技の確認をする。	高橋，他
27 28 29	技術評価試験：診療関連技術	実技	予習：課題の練習を NSTC で 3 回以上実施する。 復習：達成できなかった点について再度練習する。課題問題についてテキストや参考書を使用し正誤について調べる。	高橋，他
30	診療関連技術まとめ 対象を把握するための正確で安全な技術	講義	予習：本科目に関する不明を明確にし、質問できるように準備する。 復習：本科目に関する配布資料、ミニテスト、課題問題について見直しをする。	高橋

5. 成績評価の方法・基準

筆記試験（50%）、技術評価試験（15%）、演習記録（15%）、ミニテスト（20%）を総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

- 1) 有田清子(2021)：系統看護学講座 基礎看護学3 基礎看護技術Ⅱ 医学書院
- 2) 竹尾恵子(2019)：看護技術プラクティス [第4版動画付き] 学研メディカル秀潤社

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

授業前に必ず予習し（1時間以上）事前学習課題を提出する。

演習記録は演習の実施・結果、考察を記述して提出する。

技術評価試験は3回以上の自己練習を必要とする。

8. 受講上の留意事項

学内授業：3密を避けるよう配慮して講義、演習を実施する。

演習時は臨地実習と同様の身だしなみをする。

安全確保のため演習中は教員の指示に従う。

9. 課題に対するフィードバックの方法

事前学修課題、演習記録はコメントして返却し、復習に活用する。

ミニテストの答えは返却する。定期試験までに誤回答について調べ修正しておくこと。

定期試験の答えは返却しない。模範解答もしくは解説を掲示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

看護師としての臨床経験を活かして、指導を行う。